

山口県立大学で活躍する **自慢の** 学生にインタビュー！ INTERVIEW vol.01



山口県立大学
マスコットキャラクター
「わいびよ」

今回は高校の専門学科を卒業した国際文化学部の学生をご紹介します



国際文化学部 国際文化学科 3年

山口県立柳井商工高等学校 ビジネス情報科卒業

大学進学を決めたのは高校1年生の時。進学と就職を迷っている私に母が山口県立大学に国際関係の学部があると教えてくれ、自分で情報収集したことがきっかけ。もともと外国の文化が好きだった。入学後は大好きな英語修得に最も力を注いでいる。

山口県立大学は「学内で外国語に触れる機会が多い」のが魅力

本学を選んだ理由は、学内で外国語に触れる機会が多くなるからです。奨学金制度があるとはいえ、交換留学は私にとって経済的にハードルが高いものでした。そんな中でも、大学内で英語開講される講義（＝留学生が居る講義）に積極的に参加したり、海外に行くプログラムや機会を、自ら選択できる山口県立大学に魅力を感じました。

日々充実していることを実感

大学に入ってよかったことは、新しい人との出会いで視野が広がったことです。授業や留学、地域でのPBL（地域課題を地域の人と共に解決する学習）を通じて、多くの人と出会うことができました。特にPBLでは社会人の一人として企業の方々が関わってくださり、一緒にプロジェクトを進める中で、「社会で働く」イメージを持つことができました。オーストラリア短期留学ではホームステイ先のホストファミリーがまるで本当の家族のように迎えてくれ、一生忘れることのない出会いとなりました。

好きなことがあれば、まず調べ、そして行動してほしい

進学を迷っている高校生に伝えたいことは、大学では高校では学べないことが学べるということです。もちろん大人になってからも学ぶことはできますが、若い頃だからこそ吸収できることも沢山あります。好きなことや、進みたい道があるのなら一回調べてほしい。そして、その道に行きたいという気持ちが高まったら、行動してほしいです。チャンスを掴むかどうかは自分次第です。



国際文化学部 国際文化学科 2年

山口県立防府商工高等学校 商業科卒業

中学の頃から漠然と大学に進学したいという気持ちがあった。高校2年生の英語の先生のおかげで英語を学ぶのが楽しくなり、国際系の学部進学を考えた。本学を選んだ理由は、長期だけでなく短期留学など留学プログラムが豊富にあったこと。

留学経験でマインドが変わった

大学に入って良かったなぁと思うのは、日本人だけでなく様々な国籍の友達ができただけです。実際に短期留学にも行くことができました。留学により語学力も上がりましたが、何よりも自分のマインドが変わって、前よりも積極的になったように思います。本学は留学のチャンスも多く、今後は長期留学もしてみたいと思っています。

小規模大学だから先生や先輩との距離が近い

山口県立大学では、少人数ならではのきめ細かい指導で自分のやりたいことを実現させる環境が整っています。先生もとても相談しやすいです。高校での学びの延長だけでなく、自分が学びたいことを学び、色々なことにチャレンジできる大学です。



国際文化学部 文化創造学科 2年

山口県立厚狭高等学校 総合家庭科卒業

大学進学を決めたのは高校3年生の時、高校の先生に勧められたのがきっかけ。自分の興味があるデザインや芸術などを学べる学科があったから本学を受験した。現在はラクロスのサークルで他大学合同チームで試合に出場するのが楽しみ。

何度も何度も思う。「大学に入ってよかった」と。

大学では自分が考えていた以上のことが学べます。デザインも興味がありましたが、もっと興味が出る授業があり本当に楽しいです。そして、色々な人の出会いにより、新しい価値観や考え方を知ることができました。大学は、専門的な知識だけでなく、これから生きていくために必要なことが学べる場所だと思います。

大学にいくと将来の選択の幅も考え方も変わる

専門学科では「就職する」という固定観念のようなものがあるけれど、大学4年間を経験するのとはしないのでは、将来の選択の幅も考え方も全く違ってきます。少しでも大学進学したいと思う気持ちがあれば、挑戦してみてください。人生の中でとても重要な4年間になると思います。

きっかけはオープンキャンパス「デザインで社会課題を解決」

絵を描くことは好きでしたが、高校で簿記を学んでいたため絵を描くことを学ぼうとは考えていませんでした。しかし、オープンキャンパスに参加しデザインは社会の課題解決をすることもできるという話を聞きデザインを学びたいと考えるようになったため、山口県立大学を選びました。

プレゼンと小論文で必要な知識を得るために「ネタ帳づくり」

入試内容がプレゼンテーションと小論文だったので受験当日までとにかく何回も練習しました。プレゼン対策ではできるだけ多くの高校の先生方の前で練習し緊張感に慣れたり、小論文も同じように1人の先生だけではなく部活顧問の先生などにも添削してもらい、より多くのアドバイスをもらうようにしました。また、プレゼンと小論文で必要な知識を得るために新聞を切り取ってニュースをまとめたネタ帳のようなものも作りました。



国際文化学部 文化創造学科 2年

スタディツアー（短期留学）でハワイの文化に触れる

昨年スタディツアーでハワイに行って、現地の手作りアクセサリーのお店で、とても刺激を受けました。留学は語学だけでなく、自分の専門分野の芸術や文化の学びを深めることができる貴重な機会だと実感しました。そういう体験ができる本学に入学して本当に良かったです。

山口県立防府商工高等学校 商業科卒業

部活の先輩の影響で高校1年生の時から絶対に大学に行きたいと思っていた。大学では新しい友達に出会い新しいコミュニティができ、アルバイトや野外活動などを通して色々な世界を知ることができた。将来は映像に関係する仕事に就きたい。



国際文化学部 国際文化学科 4年

山口県立防府商工高等学校 情報処理科卒業

大学進学を決めたのは高校3年生。高校時代に体験した交換留学でアメリカに魅了されたのがきっかけ。本学は交換留学のシステムがあり、経済的に優しい大学だったので、両親を納得させやすかった。

アメリカ、センター大学での9ヶ月間の交換留学を体験

コロナ禍で留学ができず悩んでいる時に大学の教員に勧められて交換留学のチャンスを得ました。本学は教員との距離も近く、話しやすい環境です。背中を押してくれた先生には感謝しかありません。現在、留学期間を終え、高校時代の留学でお世話になったホストファミリー宅にホームステイ中です。留学中に日本と海外のコミュニケーションスタイルについて興味が出てきたので、将来は、それについて大学院で、もっと学びたいと思っています。

自分の将来について考える時間をもてた。道が広がった

ほんの少しでも大学に行きたいと思うのであれば、チャレンジしてください！就職は大学卒業後でもできるし、大学でアルバイトしてお金を稼ぐこともできます。大学では色々な人との出会いが待っています。そのチャンスを活かすのは自分次第です。やりたいことがあるのであれば見失わずに進んでください。大学では、自分の将来について考える時間を持つことができ、そのことにより道が広がりました。

大学の授業が面白い、先生方が丁寧で優しい

オープンキャンパスに2回参加しましたが、模擬授業で先生方がとにかく優しく丁寧に教えてくださるのが印象的でした。入学後の授業も面白くて、特に、実際に映像を見せながら、「こういうところが表現にこだわっていますよ」とか教えてくださる。こういう学びは想像以上で、毎日が本当に楽しいです。今後は、実際に自分の足で歩いて沢山の文化施設や美術館、歴史などを見て回りたいです。

受験勉強は大学での勉強にも役立つ

受験は辛いことがたくさんあると思います。私も小論文やプレゼンが上手くいかず、くじけたり、たくさん落ち込みました。ですが、何度も繰り返し練習をしているとよくなっていきます。また、受験時に情報収集をした内容は受験で役に立っただけでなく、入学後の課題レポート作成にも役立っています。どのような事であっても、自分がやっていることは決して無駄ではないと思っています。



国際文化学部 文化創造学科 2年

山口県立防府商工高等学校 商業科卒業

大学進学を決めたのは高校3年生の時、地域での活動が多いことに魅力を感じて本学を受験した。高校時代に、地域と関わる授業があり、地域の人の優しさや温かさを感じたのがきっかけ。



文系ならではの素養をベースに、デジタル・テクノロジーへの学びを掛け算し、地域や社会が抱える様々な問題とともに解決する。多様な人々とともに考え、社会の新たな価値創造に向けてデジタル技術を活用できる人材、それが「デジタル文系」=デジタル社会に強い文系、です。

2025年4月情報社会学科で「デジタル文系」の育成がはじまります。詳細は大学HPをご覧ください（右QRコード参照）



お問い合わせ

山口県立大学 学生部入試部門

【所在地】〒753-8502 山口県山口市桜島6丁目2-1

【メール】nyushi@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp

【電話】083-929-6503（平日9時～17時）